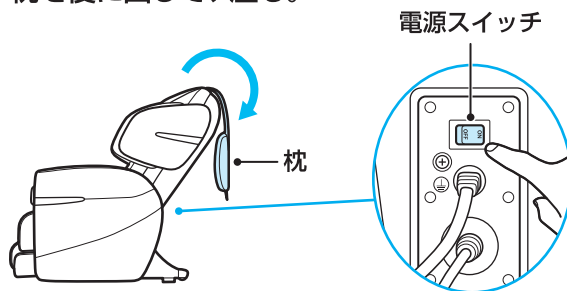


JT-FJ170 カンタン操作ガイド

1 本体後側にある電源スイッチを「ON」にする。

2 枕を後に回して、座る。



3 背部と脚部をお好みの位置に合わせる。

- 背部：
- 背もたれ部が起き上がる。
 - 背もたれ部が倒れ、脚部が上がる。
- 脚部：
- 脚部が上がる。
 - 脚部が下がる。

4 マッサージコースを押し、お好みのコースを選択する。

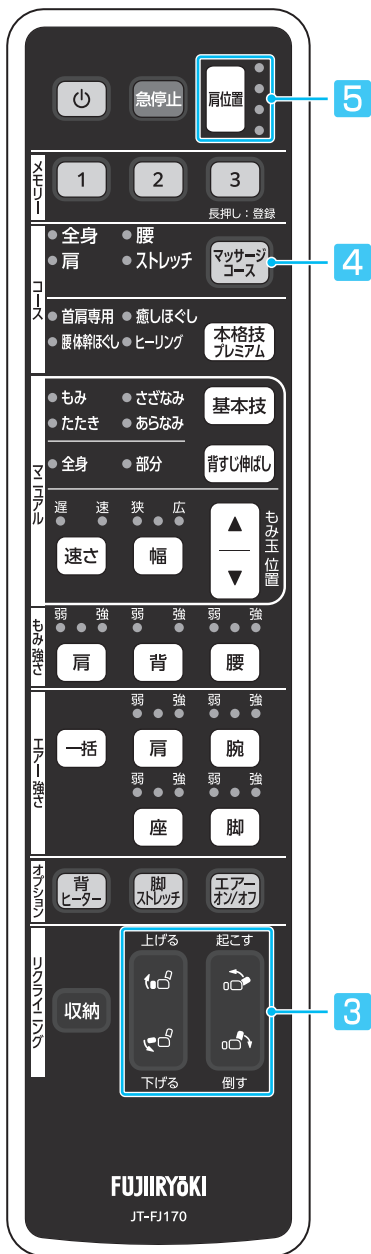
※脚部が完全に下がっているときは、一定の角度まで上がった後、ランプが点灯し、コース選択が可能となります。

マッサージコースの種類

- 全身** 全身のこりや疲れをやわらげるコース
- 肩** 肩・背部のこりや疲れをやわらげるコース
- 腰** 腰部のこりや疲れをやわらげるコース
- ストレッチ** ストレッチ動作を中心としたマッサージコース

5 マッサージコースを選択すると脚部が上がリ、もみ玉が肩位置を自動的に検知する。

検知した肩位置は、 を押して変更できる。



FUJIRYOKI
JT-FJ170

マッサージコース動作中の調節

マッサージは約15分で終了します。

マッサージを途中で終了する場合、

電源 を押してください。

●もみ玉が収納位置まで移動し、終了します。

ただちにマッサージを停止する場合、

急停止 を押してください。

●もみ玉は現在の位置を保ったまま停止します。

肩・背・腰の強さを調節したいとき

肩 **背** **腰** で強さを選択。

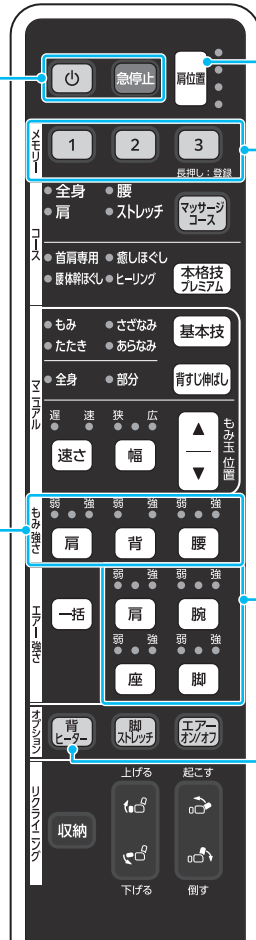
●ボタンを押すごとに強さが切り替わります。

肩・腰：5段階 背：2段階

もみ玉マッサージ強さのランプ

強さ	ランプの点灯	
	5段階 (肩・腰)	2段階 (背)
弱 1	○ ● ● ● ●	○ ●
2	○ ○ ● ● ●	● ○
3	● ○ ● ● ●	○ ● ● ● ●
4	● ● ○ ● ●	○ ● ● ● ●
強 5	● ● ● ○ ●	○ ● ● ● ●

○…点灯
●…消灯



肩位置を調節したいとき

肩位置 で肩位置の高さを 7段階から選択。

設定のメモリー機能を使いたいとき

コース中に **1** **2** **3** いずれかを長押しで、肩位置や強弱設定を登録。

●お好みの肩位置や、もみ/エアークラスを登録し、呼び出すことができます。詳細は取扱説明書をご参照ください。

肩・腕・座・脚エアーを調節したいとき

肩 **腕** **座** **脚** で動作を選択。

●ボタンを押すごとに「弱」→「中」→「強」→「切」と切り替わります。

ヒーターを「入/切」したいとき

背ヒーター で動作を選択。

●ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
●背もたれ部のマッサージと同時に使用しない場合、約 90 秒でヒーターが終了します。詳細は取扱説明書をご参照ください。

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

警告

- (1) 使用前には、必ずマッサージ部のカバーやその他の部分が破れていないか確認する。破れがあった場合は、小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼する。また、カバーを外した状態で使用しないこと。
- (2) 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理しない。
- (3) アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。
- (4) 使い始めは、弱い刺激でマッサージする。
- (5) マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。
- (6) 頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。
- (7) 腰・尻・ももをマッサージするときは、衣服(ズボンなど)のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。
- (8) 手や腕をマッサージをするときは、つけ爪・時計・指輪・ブレスレットなどの硬いものを装着したまま使用しない。
- (9) 次の人は使用しない。
医師からマッサージを禁じられている
(例：血栓[そく(塞)栓]症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症(皮下組織の炎症を含む)など)
- (10) 医師の治療を受けている人や心臓などに障害のある人、または身体に異常を感じているときは、必ず医師と相談のうえ、使用する。(詳しくは取扱説明書を参照)
- (11) ご自分で意思表示ができない人、または操作できない人には使用させない。また、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人に単独で使わせない。
- (12) お子様には使用させない。お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。また、幼児を近づけない。
- (13) リクライニングするときは、必ず周囲(本体の後部、前部、側部、下部など)に人やペット、物がいないことを確認する。
- (14) ヒーターは長時間使用しない。また、同一箇所に長時間触れるような使い方をしない。
- (15) 使用にあたっては、取扱説明書をお読みください。